

資産運用レポート：連続増配企業

1 はじめに

DIVIDEND GROWTH INVESTOR（配当成長投資家）という海外サイトに「アール・クローリーが最低賃金で50万ドルの配当ポートフォリオを構築した方法」という記事が掲載されています。

<https://www.dividendgrowthinvestor.com/2021/09/how-earl-crawley-built-500000-dividend.html>

貧しい家庭に育ち、駐車場の係員という低賃金の仕事の就いていたアール・クローリー氏が、時間をかけて優良株を買い続け、配当金を再投資して、50万ドル（約5,700万円）相当の配当株ポートフォリオを築いたというサクセスストーリーです。

記事で紹介されていた彼のポートフォリオを見て「やっぱりそうか」と思いました。9銘柄のうち5銘柄が28年以上も連続増配を続けていたのです。

- コカ・コーラ（KO） **59年連続増配**
- キャタピラー（CAT） **28年連続増配**
- バンク・オブ・アメリカ（BAC）
- IBM（IBM）
- コルゲート・パーモリーブ（CL） **58年連続増配**
- ロッキード・マーティン（LMT）
- ベライゾン（VZ）
- AT&T（T） **36年連続増配**
- エクソンモービル（XOM） **38年連続増配**

米国では、長期投資の実践によって多額の遺産を寄付したアンネ・シャイバー女史やロナルド・リード氏の名前が知られています。アール・クローリー氏を含む、この3人の投資手法は似通っており、配当を増やしている優良株をコツコツと買い続けたのです。

銘柄も重複しています。コカ・コーラ、エクソンモービルはアンネ・シャイバー女史が、コルゲート・パーモリーブはロナルド・リード氏が保有していました。

投資の原理原則は万国共通につき、我が国においても配当を増やし続ける優良株への長期投資が実を結ぶのではないのでしょうか。今回の資産運用レポートでは、連続増配企業への投資を取り上げてみました。